

第 86 回東京女子医科大学学会総会

～議案書～

【日 時】 書面評決期間：2020 年 9 月 10 日（木）～9 月 25 日（金）12:00

集計・議決日：2020 年 9 月 26 日（土）

議決事項報告：2020 年 10 月 5 日（月）

【場 所】 書面評決：学会ホームページに議案書を掲載

結果報告：学会ホームページに評議員会・総会報告として掲載

【議題 1】 庶務報告

【議題 2】 会計報告：2019 年度決算および監査報告

【議題 3】 会計報告：2020 年度予算案

【その他】・集会担当幹事会からの報告

・編集担当幹事会からの報告

【議題 1】 庶務報告

2019 年 1～12 月の庶務報告として以下のとおり報告する。

1. 会員（2020 年 3 月末時点）：正会員は 838 名で、昨年の 823 名より 15 名多い状況で経過している。
2. 和文誌『東京女子医科大学雑誌』（2019 年 1～12 月）：冊子体は 89 巻 1～6 号と英文誌の合本号の 1 回、電子版は 89 巻 1～6 号の計 6 回、それぞれ発行した。
3. 英文誌『Tokyo Women's Medical University Journal』（2019 年 1～12 月）：Volume 3 は 12 篇を掲載した。
4. 集会（2019 年 1～12 月）：
第 359 回例会（2019 年 2 月 23 日開催）：研究奨励賞受賞者研究発表のほか、一般演題 1 題、研修医症例報告 17 題が発表された。
第 360 回例会（2019 年 5 月 22 日開催）：「弥生先生を語る」は 1956（昭和 31）年本学卒業生の大森安恵先生より、記念講演は 1983（昭和 58）年本学卒業生の鴨川由美子先生より「はじめの一步」と題してお話しいただいた。
第 85 回総会（2019 年 9 月 28 日開催）：シンポジウムは「輝く女性が未来を創る 女性医療の最前線」をテーマに 4 名お話しいただいた。
5. 記念楯（2019 年 1～12 月）：学会主催 2 個、共催 8 個、その他 1 個の利用だった。
6. 新名誉会員：澤田達男名誉教授、杉原茂孝名誉教授、田中美恵子名誉教授に名誉会員の称号をお贈りする。
7. 新評議員推薦：
2019 年 9 月～2020 年 8 月に准教授以上に就任した推薦対象 29 名のうち、承諾された 26 名を評議員として推薦する。

医学部

- 林 基弘 准教授（脳神経外科学）
三枝 英人 准教授（八千代医療センター耳鼻咽喉科小児耳鼻咽喉）
古川 博史 准教授（東医療センター心臓血管外科）＊
濱崎 安純 准教授（心臓血管外科学）＊
三浦健一郎 准教授（腎臓小児科）
長坂 安子 教授・講座主任（麻酔科学）＊
古賀 陽子 教授（歯科口腔外科学）＊
野中 康一 教授（消化器内視鏡科）＊
有山 淳 准教授（東医療センター麻酔科）＊
飯塚 淳平 准教授（泌尿器科学）

石崎 純子 准教授 (東医療センター皮膚科)
高木 敏男 准教授 (泌尿器科学)
田村 学 准教授 (先端生命医科学研究所) *
布村多佳子 准教授 (膠原病リウマチ内科)
平松 健司 准教授 (八千代医療センター心臓血管外科)
古田 実 准教授 (八千代医療センター眼科) *
松峯 元 准教授 (八千代医療センター形成外科)
竹下 信啓 准教授 (八千代医療センター緩和ケア内科)
小川 真平 准教授 (消化器外科学)
小寺 由人 准教授 (消化器外科学)
若林 秀隆 教授 (リハビリテーション科) *
野原 理子 教授 (衛生学公衆衛生学) *
大友 真理 准教授 (遺伝子医療センター)
蔣池 勇太 准教授 (衛生学公衆衛生学)
梅垣 知子 准教授 (東医療センター皮膚科)

看護学部

濱田 由紀 教授 (精神看護学)

[就任順 * 新任]

8. 幹事・監事改選:

幹事・監事は9月30日で任期2年を迎えるが、会則第10条により再任された。

編集担当幹事 21名

江川 裕人 教授 (医学部消化器外科学) ○
萩原 誠久 教授・講座主任 (医学部循環器内科学)
平澤 恭子 臨床教授 (医学部小児科学)
稲田 健 准教授 (医学部精神医学)
石田 英樹 教授 (移植管理科)
岩崎 直子 教授 (成人医学センター) *
水主川 純 准教授 (母子総合医療センター)
北川 一夫 教授・講座主任 (医学部脳神経内科学)
近藤 光子 教授 (医学部呼吸器内科学)
森本 聡 准教授 (医学部内科学第二)
中村 史雄 教授・講座主任 (医学部生化学) ○*
南家 由紀 准教授 (看護学部臨床医学系内科学)
野中 学 教授・講座主任 (医学部耳鼻咽喉科学)
齋藤 聡 准教授 (医学部心臓血管外科学) ◎*
櫻井 裕之 教授・講座主任 (医学部形成外科学)
篠崎 和美 准教授 (医学部眼科学)
三條真紀子 准教授 (看護学部成人看護学) *
杉下 智彦 教授・講座主任 (医学部国際環境・熱帯医学) ▲
田中 淳司 教授・講座主任 (医学部血液内科学)
徳重 克年 教授・講座主任 (医学部消化器内科学)
内田 啓子 教授 (腎臓内科) △

集会担当幹事 13名

岩崎 直子 教授 (成人医学センター)
唐澤久美子 教授・講座主任 (医学部放射線腫瘍学)
小森万希子 教授 (東医療センター麻酔科)
村崎かかり 教授 (予防医学科)
中村 真一 教授 (医学部消化器内科学) *
尾崎 恭子 教授 (看護学部臨床医学系外科学)
齋藤 聡 准教授 (医学部心臓血管外科学) ○*
佐藤 麻子 教授 (臨床検査科)
清水 京子 教授 (医学部消化器内科学) ◎

清水 優子 准教授（医学部脳神経内科学）＊
 杉下 智彦 教授・講座主任（医学部国際環境・熱帯医学）▲
 内田 啓子 教授（腎臓内科）△
 柳澤 直子 教授・講座主任（医学部微生物学免疫学）
監事 2名
 石黒 直子 教授・講座主任（医学部皮膚科学）
 降矢 芳子 教授（東医療センターリハビリテーション科）＊
 〔◎幹事長 ○副幹事長 ▲会計 △庶務 ＊新任，ABC順〕

9. 内規の改訂：

吉岡博人記念総合医学研究奨励金規程の改訂により、吉岡博人記念総合医学研究奨励賞授与式と受賞グループ研究発表の9月総会から5月例会への実施会変更にかかわる条文を改訂した。

【議題2】会計報告：2019年度決算および監査報告

2019年度収支決算：収入

会費収入決算額 4,051,500 円、雑誌刊行収入決算額 2,506,355 円、盾売却収入決算額 219,585 円、雑収入決算額 267 円であった。

2019年度収支決算：支出

集会費決算額 1,184,841 円、出版費決算額 5,639,238 円、経常費決算額 515,588 円であった。

2019年度収支決算：結果

前期繰越金 38,858,536 円を加えた収入合計 45,636,243 円に対し支出合計 7,339,667 円で、結果 38,296,576 円の繰越金を計上した。

2019年度収支決算：監査報告

以上の結果について、石黒直子・降矢芳子両監事の監査を受け、適正かつ公正であると認められた。

【議題3】会計報告：2020年度予算案

2020年度収支予算：収入

1. 会費収入 2020 予算額 4,200,000 円。現在の会員数増減と入金状況より前年度差 110,000 円減とした。
2. 雑誌刊行収入 2020 予算額 943,000 円。新たな臨時増刊号の発行を予定していないことから前年度差 1,339,000 円減とした。
3. 盾売却収入 2020 予算額 20,000 円前年度差なしとした。
4. 雑収入 2020 予算額 424 円とした。

2020年度収支予算：支出

1. 集会費 2020 予算額 482,000 円。吉岡弥生記念講演会の記念講演講師講演料につき大学からの援助がなくなったものの、集会中止もあったことから、前年度差 349,000 円減とした。
2. 出版費 2020 予算額 4,745,000 円。オンライン投稿査読システム ScholarOne Manuscripts 導入に関わる費用を計上しているものの、新たな臨時増刊号の発行を予定していないこと、論文数が減少していることより、前年度差 2,145,000 円減とした。
3. 経常費 2020 予算額 710,000 円。引っ越しが完了し、大きなものの購入の予定がないことから前年度差 470,000 円減とした。

2020年度収支予算：結果

前期繰越金 38,296,576 円を加えた収入合計 43,460,000 円に対し支出合計 5,937,000 円で、37,523,000 円の繰越金を計上する見込みである。

2019年度収支決算書（2019年4月～2020年3月）

収入の部		<単位:円>		
科目	2019年度予算額	2019年度決算額	差額	
前期繰越	38,858,536	38,858,536	0	
1. 会費収入	4,310,000	4,051,500	△ 258,500	
2. 雑誌刊行収入	2,282,000	2,506,355	224,355	

3. 盾売却収入	20,000	219,585	199,585
4. 雑収入	464	267	△ 197
収入合計	45,471,000	45,636,243	165,243

支出の部			
科 目	2019 年度予算額	2019 年度決算額	差額
1. 集会費	831,000	1,184,841	353,841
2. 出版費	6,890,000	5,639,238	△ 1,250,762
3. 経常費	1,180,000	515,588	△ 664,412
支出合計	8,901,000	7,339,667	△ 1,561,333
次期繰越	36,570,000	38,296,576	1,726,576


2020 年度収支予算書 (2020 年 4 月～2021 年 3 月)


収入の部			<単位:円>
科 目	2020 年度予算額	2019 年度予算額	増減
前期繰越	38,296,576	38,858,536	△ 561,960
1. 会費収入	4,200,000	4,310,000	△ 110,000
2. 雑誌刊行収入	943,000	2,282,000	△ 1,339,000
3. 盾売却収入	20,000	20,000	0
4. 雑収入	424	464	△ 40
収入合計	43,460,000	45,471,000	△ 2,011,000

支出の部			
科 目	2020 年度予算額	2019 年度予算額	増減
1. 集会費	482,000	831,000	△ 349,000
2. 出版費	4,745,000	6,890,000	△ 2,145,000
3. 経常費	710,000	1,180,000	△ 470,000
支出合計	5,937,000	8,901,000	△ 2,964,000
次期繰越	37,573,000	36,570,000	953,000

会計監査報告書

東京女子医科大学学会 2019 年度収支決算書につき、会計帳簿
および関係書類に基づき監査した結果、その内容は適正かつ公
正妥当なものであることを認めます。

2020 年 7 月 9 日
監事 石黒 直子 

2020 年 7 月 19 日
監事 降矢 芳子 

【その他】集会担当幹事会からの報告

1. 第86回総会〔2020年9月26日（土）13:00～15:00〕
新型コロナウイルス感染症拡大防止に鑑み、総会は書面開催、シンポジウムはZoomウェビナーを用いたWeb開催に変更した。
総会は書面開催のため、当日は行わない。
シンポジウムは、500名の制限があり、事前予約が必要。申込期日は9月15日。座長の田邊一成先生により、学内5名、学外1名の構成で行われる。メディカルAIセンターからの紹介のもと株式会社スタージェンの協力を得て、ウェビナーというソフトを無料でご提供いただき実施する。現在、その契約に向けて準備中である。初めての試みのため、事前のリハーサルを予定している。
オンラインで開催し、なおかつ録画して、学生や医局の方にご覧いただける医療資源として活用できるようにする。
2. 第363回例会〔2021年2月27日（土）午後〕
今年2月はコロナの影響で行えなかった。
研修センターの担当を本院・東・八千代の輪番制とし、来年は東の担当だったが、今年実施できなかったことから、再度本院に担当していただき実施する。
社会情勢等に配慮し開催方法を変更する可能性もあるが、ご理解の上、奮ってご応募いただきたい。
3. 第37回吉岡弥生記念講演会〔2021年5月24日（月）13:40～16:00〕
彌生先生のご命日22日が土曜日のため翌月曜日24日の開催とした。
今年の講師は、本講演は上野千鶴子先生、「弥生先生を語る」は岩本絹子理事長を予定していたが、中止となってしまったため、折を見て、再度お願いする予定である。

【その他】編集担当幹事会からの報告

1. 和文誌：第91巻掲載特集「COVID-19」
例年、和文誌に掲載しているシリーズは、第91巻に限り1号にまとめて「COVID-19」特集を掲載する。基礎から4篇、臨床から5篇、ご協力いただく。

	ご執筆者	ご所属	内容
基礎1	加藤秀人先生 柳澤直子先生	微生物学免疫学	SARS-CoV-2の構造とウイルス学・免疫応答（宿主側面）の一般的知識
基礎2	中村史雄先生 石津綾子先生	生化学 解剖学（顕微解剖学・形態形成学）	病態生理（基礎）
基礎3	塚原富士子先生	薬理学	薬剤開発・薬物治療
基礎4	杉下智彦先生	国際環境・熱帯医学	疫学的視点から
臨床1	多賀谷悦子先生	呼吸器内科	病態生理（臨床的特徴）
臨床2	満田年宏先生	感染制御科	COVID-19の感染制御（一般論）
臨床3	矢口有乃先生	救命救急センター	COVID-19患者の集中治療管理
臨床4	西村勝治先生 教室員との共著	精神科	COVID-19のメンタルヘルスケア
臨床5	川名正敏先生	コロナ対策チームリーダー	本学におけるCOVID-19に対する取り組み

2. 英文誌：PMC申請
2021年4月の申請を目指し、株式会社杏林舎に申請代行業を依頼し、コンサルトしていただきながら準備を進める。
採択に向けて、現状の問題点を洗い出し、①規約等の改訂・制定、②International Advisory Boardの充実、③Statistical Advisory Boardの設置、学内学識者の中から候補を再選考中。④他施設からのReview Article増加に向けた働きかけ、⑤Original Article増加に向けた働きかけ、等を考えている。
3. 英文誌：Review論文の充実化への取り組み
Citationされる雑誌であるためには、Review論文が充実していることが大切だと考え、新任の講座主任を中心にMini-Reviewのご執筆をお願いする。また、和文誌の投稿をしていただいたのち、ご負担にならないように配慮して、英文誌への「COVID-19」特集の掲載にも取り組んでいく予定である。